

# 校内研修計画

神金小学校

## 1 学校課題

本校の児童は、全体的に明るく、元気で、素直である。子供たち同士の仲は大変よく、休み時間や児童会行事では学年の枠を超えて遊び、諸活動においても上級生が下級生の面倒をよくみている。全校児童の一体感が見られる。少人数学級の特徴を生かし、学習指導では児童一人ひとりに教師の目がよく行き届くことにより、児童の基礎学力向上が図られてきた。一方、児童が相互に切磋琢磨する場面が減少し、幼児期からの友人関係の固定化もあり、ダイナミックな活動が少なくなったことが課題としてあげられる。自ら主体的に学び、自己判断し決定していく力の育成が急務である。

そこで、小規模校の特性を生かしながら、児童一人ひとりに確かな学力を身に付けさせるとともに、全校縦割り集団等を組織し、主体的で生き生きとした活動を数多く仕組みながら、児童自らが気づき・考え・判断する力、自己決定力が育成できるよう、全校体制で取り組んできている。今年度も継続し、小規模校デメリット解消の中心課題として取り組んでいきたい。

また、甲州市「確かな学力」育成プロジェクトとかかわりもたせた「学級づくり」や「授業づくり」「地域保護者との連携」の実践も着実に成果をあげてきている。今年度もプロジェクトとの連携を深めながら、確かな学力の定着と向上を一層推進していきたい。

さらに、平成27年度から29年度に文部科学省委託「少子化・人口減少に対応した活力ある学校教育推進事業」の小規模校を存続させるためのモデル地区として、先進的なICT環境を活用した21世紀型地域創生事業の調査研究を行った。協働学習場面におけるICT機器の活用やICT機器を媒介としたコミュニケーション能力の醸成、地域資源を活用した主体的に学びにかかわる「新たなふるさと学習」の実践に取り組み大きな成果を得た。今年度も、研究の成果を生かした実践を継続し、深化させていきたい。

## 2 主題主題

「少人数学級における思考力・判断力・表現力等の育成」

～主体的・対話的で深い学びを視点とした授業の工夫と改善を通して～

## 3 主題設定の理由

文部科学省委託事業のモデル地区として、先進的なICT環境を活用した21世紀型地域創生事業の調査研究に取り組んだ成果を生かし、継続して授業の工夫と改善を行ってきた。その結果、児童は自分の考えを持ち、自分の考えを発表できるようになった。また、小規模校のデメリットとしてあげられた、同学年の児童数が少ないことにより多様な思考に触れられる授業が難しいという点では、同期型CSCL(Computer Supported Collaborative Learning)を使った複数校との協働学習を仕組むことで、多くの児童の思考に触れることができ、それにより児童の思考を深め、広げることができた。

今年も、先進的ICT環境を引き続き活用し、小規模校ならではの丁寧な指導と一人ひとりが学び・考え・行動できるよう、発表や活動の機会を保障することを通して、21世紀型能力の向上を図っていきたい。

また、地域資源を活用した主体的な学びを実践し、それを情報として地域に発信する「ふるさと学習」に引き続き取り組む過程で、児童の思考や表現する力を育成していくことをめざしたい。「21世紀型能力」を目指すことは、「主体的・対話的で深い学び」の実現にそうものと捉える。

## 4 研究の具体的内容と方法

### (1) 授業づくり

#### ① 児童の実態把握

・Q-U、全国学力の分析

#### ② 一人一実践と研究授業の実施

・「主体的・対話的で深い学び」に迫るための授業の工夫と改善

※21世紀型能力：

仲間と協働して学習する力、自ら課題を設定し、解決策を考え結果を導きだし考察した上で、さらによりよき結果を求め改善する力、またそれらのことを発信したり、仲間の発表などから、自らの考えなどを改善する力と捉える。

- ・ ICT 環境を活用した実践(日常の授業の中での活用を図る)
- ・ 学校間ネットワークの交流実践の継続

②「ふるさと学習」の取り組み

- ・ 地域人材を活用
- ・ 地域との連携と情報発信(神金シンポジウム・ふるさと学習発表会)

(2) 学習基盤づくり(甲州プロジェクトと関わって)

①Q-U調査の実施(2回)と分析

②互いに認め合い、高めあえる集団づくりを目指した学級活動の取組

③「朝の基礎学習」の取組

④家庭学習や学習規律の確立の取組

年間校内研修計画

研究主任 廣瀬きよ美

研究テーマ		教科領域等	担当者	学年	授業の時期	T・C 要請
少人数学級における主体的・対話的で深い学びを視点とした授業の育成の工夫と改善を通して	1	昨年度の成果と課題, 研究の方向性	研究主任			
	2	研究主題・研究の方向性 学習会「edutab, デジタル教科書の活用」	研究主任 廣瀬・神宮司			
	3	基本計画, 研究組織について, 学習会「タブレットアプリの活用」	研究主任・大島			
	4	部会別研究計画	部会長			
	5	塩山北小との合同学習会	研究主任・神宮司			
	6	学習会「主体的・対話的な深い学びとは」	研究主任		5月	○
	7	Q-U分析	集団づくり	担当学年		
	8	TV会議システムを使った授業について(3校中学校区体育大会)		各学年		
	9	部会研究		部会長		
	10	教育課程環流報告・2学期に向けての取組(学力テスト分析結果から)	授業づくり	各担当 6年担任		
	11	部会研究		部会長		
	12	部会研究授業(低学年)	算数	大島教諭	2年	9月
	13	ふるさと学習発表会について	地域連携/授業づくり	研究主任		
	14	一人一実践				
	15	一人一実践				
	16	部会研究		部会長		
	17	部会研究		部会長		
	18	部会研究授業(高学年)	算数	保坂教諭	4年	11月
	19	Q-U分析と今後の取り組み	集団づくり	担当学年		
	20	一人一実践				
	21	一人一実践				
	22	集団づくり・授業づくり実践のまとめ(部会)		部会長		
	23	研究の成果と課題(全体)		研究主任		
	24	来年度の方向性		研究主任		
	25	研究紀要の校正と修正		各学年		
	26	研究紀要原稿の最終校正/印刷				

